



釧路川の 水道水の取水口で PFAS を検出

PFAS「パーフラス」って？

有機フッ素化合物の総称です。その代表的なものがPFOS・PFOAとPFOA・PFOAで、大問題になっています。PFASを長期的に摂取していると発がんリスクが上がり、免疫機能が低下するおそれがあります。

WHOの専門組織である国際がん研究機関（IARC）はPFOAは「発がん性がある」、PFOSはその「可能性がある」と認定しています。

PFOSやPFOAが河川や地下水から、まれに検出されることがあります。

「釧路は大丈夫なの？」という心配にこたえ、3月に水道部に問い合わせました。

市は「ありません」と答え、ホームページにも、原水も水道水も「令和2年よりPFOS・PFOAの検査を実施しており、検出されておられません」と発表しています。

釧路川水道取水口で
環境省は検出していた

環境省も別に調査しています。環境省の令和4年度の調査結果を見つけた村上議員。

釧路川の2か所から検出され、一か所は釧路川下流の新川橋、もう一か所は上水愛国浄水場取水口、PFOAとPFOA合わせ、1リットル当たり0.3ナノグラム。

市は国の暫定規制値の50ナノグラムの10分の1程度まで測れば問題なく、それ以下なら0と発表し

ていました。環境省の数値について市にも確認しましたが、PFOAが微量だが出ているのは間違いないと言っています。

国の暫定基準値を大きく下回りますが、アメリカ環境保護局（EPA）は、飲料水の含有基準を日本の10分の1、1リットル当たり4ナノグラムとしています。釧路川の数値は無視できるものではありません。

環境省の調査ではその後も

環境省のその後の調査はまだ公表されていません。村上議員が直接、国に問い合わせると、5年度も0.3ナノグラム未満が検出され、6年度は分析中。このことから、4年度の数値が例外的なものでないこともハッキリしました。

令和4年度公共用水域及び地下水のPFOS及びPFOA調査結果一覧

都道府県	政令市	地点区分	地点名	河川・湖沼・海域名	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS+PFOA (ng/L)
北海道	旭川市	河川	旭川市石狩川浄水場取水口	石狩川上流（2）	< 0.15	0.39	0.5
北海道	旭川市	河川	旭川市忠別川浄水場取水口	石狩川上流（3）	0.19	1.5	1.7
北海道		河川	中川	天塩川下流（4）	< 0.15	0.41	0.5
北海道		河川	釧路市上水愛国浄水場取水口	釧路川中流	-	-	0.3
北海道		河川	新川橋	釧路川下流（2）	-	-	0.4
北海道		河川	伊納大橋	石狩川上流（4）	0.21	0.61	0.8
北海道	旭川市	河川	永見橋	江丹別川	1	2.6	3.6
北海道		河川	美々橋	美々川	0.27	0.5	0.7
青森県	八戸市	河川	塩入橋	新井田川下流	< 0.3	< 0.3	< 0.6
青森県	八戸市	河川	辰引橋	五戸川下流	< 0.3	< 0.3	< 0.6

